

平成26年 予算特別委員会

(会議録 第2号)

1. 招集年月日 平成26年3月11日

2. 招集の場所 第1委員会室

3. 開会年月日 平成26年3月13日

4. 出席委員(13名)

1番 沖田 ゆかり	2番 片川 学
3番 時光 良弘	4番 民法 正則
5番 荒瀧 穂積	6番 大瀬戸 宏樹
7番 藤本 哲智	9番 山吹 富邦
10番 山野 千佳子	11番 久保隅 逸郎
12番 中原 裕侑	14番 佛圓 大源
16番 馬上 勝登	

5. 欠席委員(3名)

8番 渡 紘八	13番 尺田 公造
15番 南田 秀夫	

6. 説明のために出席した者の職氏名

町 長	三村 裕史
副町長	立花 隆藏
教育 長	林 保
総務部 長	内田 充
民生部 長	清代 政文
建設部 長	森本 昌義
教育部 長	藤森 孝弘
総務部 参事	石井 節夫
総務部 次長	岩田 秀次

民 生 部 次 長	光 本 一 也
建 設 部 次 長	民 法 勝 司
教 育 部 次 長	三 村 伸 一
企 画 財 政 課 長	宗 條 勲
商 工 観 光 課 長	時 光 良 弘
税 務 課 長	貞 永 治 夫
福 祉 課 長	加 島 朋 代
住 民 課 長	西 村 隆 雄
健 康 課 長	隼 田 雅 治
生 活 環 境 課 長	沖 田 浩
都 市 整 備 課 長	横 山 大 治
開 発 指 導 課 長	林 武 史
下 水 道 課 長	中 井 雅 晴
水 道 課 長	曾 根 和 典
学 校 教 育 課 長	富 田 谷 敬 子
会 計 課 長	中 村 憲 治

7 . 本会議に職務のため出席した者の職氏名

議 会 事 務 局 長	立 花 一 郎
-------------	---------

8 . 会議に付した事件

- 議案第 1 4 号 平成 2 6 年度熊野町一般会計予算について
- 議案第 1 5 号 平成 2 6 年度熊野町国民健康保険事業特別会計予算について
- 議案第 1 6 号 平成 2 6 年度熊野町公共下水道事業特別会計予算について
- 議案第 1 7 号 平成 2 6 年度熊野町後期高齢者医療特別会計予算について
- 議案第 1 8 号 平成 2 6 年度熊野町介護保険特別会計予算について
- 議案第 1 9 号 平成 2 6 年度熊野町上水道事業会計予算について

委員長（藤本） ただいまの出席委員は 1 3 名です。

定足数に達していますので、ただいまから予算特別委員会を再開いたします。

まず、各分科会での審査について、各分科会進行役から報告を受けたいと思います。  
三つの分科会におきまして、それぞれ慎重に審査していただきました。  
各分科会の報告をお手元に配付いたしておりますので、御確認ください。  
それでは、総務厚生分科会の報告をお願いします。

山吹委員長。

~~~~~

総務厚生分科会進行役（山吹）

平成26年3月13日

予算特別委員長 藤本哲智様

総務厚生分科会進行役 山吹富邦

平成26年熊野町議会予算特別委員会総務厚生分科会審査状況報告書

本分科会は、平成26年予算特別委員会において付託された次の件について、3月11日、12日に分科会を開催し、慎重に審査した状況を報告する。

1. 審査議案

- 議案第14号 平成26年度熊野町一般会計予算のうち議会費、総務費、民生費、衛生費、商工費、消防費、公債費、諸支出金、予備費について
- 議案第15号 平成26年度熊野町国民健康保険事業特別会計予算について
- 議案第17号 平成26年度熊野町後期高齢者医療特別会計予算について
- 議案第18号 平成26年度熊野町介護保険特別会計予算について

以上、報告いたします。

~~~~~

委員長（藤本） ありがとうございました。

続いて、産業建設分科会の報告をお願いいたします。

産業建設委員長。

~~~~~

平成26年3月13日

予算特別委員長 藤本哲智様

産業建設分科会進行役 大瀬戸宏樹

平成26年熊野町議会予算特別委員会産業建設分科会審査状況報告書

本分科会は、平成26年予算特別委員会において付託された次の件について、3月12日、13日に分科会を開催し、慎重に審査した状況を報告する。

1. 審査議案

議案第14号 平成26年度熊野町一般会計予算のうち、農林水産業費、土木費、  
総務費の一部について

議案第16号 平成26年度熊野町公共下水道事業特別会計予算について

議案第19号 平成26年度熊野町上水道事業会計予算について

---

以上です。

~~~~~  
委員長（藤本） ありがとうございました。

続いて、文教分科会の報告をお願いします。

片川委員長。

~~~~~  
文教分科会進行役（片川）

---

平成26年3月13日

予算特別委員長 藤本哲智様

文教分科会進行役 片川学

平成26年熊野町議会予算特別委員会文教分科会審査状況報告書

本分科会は、平成26年予算特別委員会において付託された次の件について、3月13日に分科会を開催し、慎重に審査した状況を報告する。

1. 審査議案

議案第16号 平成26年度熊野町一般会計予算のうち、教育費、民生費の一部について

以上です。

委員長（藤本） ありがとうございました。

以上で、3分科会からの報告を終わります。

これより議案第14号、平成26年度熊野町一般会計予算から議案第19号、平成26年度熊野町上水道事業会計予算までの6件について、一括して総括質疑を行いたいと思います。

質疑はございませんか。

沖田委員。

委員（沖田） すいません。民生部門なんですけれども、乳幼児健診についてなんですが、受診に来られていない方の把握は町のほうでされてるのでしょうか。

委員長（藤本） 隼田健康課長。

健康課長（隼田） 乳幼児健診に来られてない方の把握については、電話等、あと訪問等実施しており、把握しております。

以上です。

委員長（藤本） 沖田委員。

委員（沖田） 把握しておられるということで安心したんですけれども、受診に來られていない方というのは、児童虐待のおそれがあるというところもありますので、今後とも引き続き丁寧な対応をお願いしたいと思います。

また、教育部門なんですが、先ほどから何度も出ておりますが、学校施設の維持修繕費についてなんですけれども、教育のまち 熊野町という宣言をしているにもかかわらず、学校施設から雨漏りがする中で子供たちが授業を受けているというのは、まことに残念な限りです。安全・安心な教育環境の充実のためということで、町長も施政方針で言われておりましたけれども、子供たちは確実に成果を出しております。学力も向上しておりますし、教育委員会の推進しますレベル5の挨拶、無言移動・無言清掃、卒業式に出られた議員さんも何人も言っていらっしゃいましたけれども、熊野町の子供たち、本当に頑張っておりますので、せめて学校施設の維持修繕費予算計上に関しては、今後、本当に一番に考えていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

~~~~~

委員長（藤本） 藤森教育部長。

~~~~~

教育部長（藤森） 学校修繕対策につきましては、実情をよく把握し、計画的に進めていけるように努力したいと思います。

以上です。

~~~~~

委員長（藤本） 沖田委員。

~~~~~

委員（沖田） 町長にもお伺いしたいのですが。

~~~~~

委員長（藤本） 町長。

~~~~~

町長（三村） 先ほどの委員会で若干舌足らずのところがありましたので、まず、優先的に取りかかってまいりたいと思います。予算の制約はございますが、沖田委員に言われたように、教育のまちです。雨漏りのするところで勉強するのは、余りみっともいものではありませんので、最大限努力いたしたいと思います。

以上です。

委員長（藤本） 民法委員。

委員（民法） 民法でございます。このたび、消防団員の退職金5万円アップということなんですが、東北大震災、その教訓を生かして、国は実働部隊と消防団員の強化を図っていますが、具体的に消防団の危機管理及びトランシーバーなど、充実を地方自治体に求めているようでございます。

このような背景の中、熊野町として今後どのような取り組みをしていくのか、教えてくださいたいと思います。

委員長（藤本） 岩田総務部次長。

総務部次長（岩田） まず、消防団に関する御質問であります。まず今年度、25年度に団員の安全装備として、20年ぶりにヘッドライト付きのヘルメットを全団員の交換をいたしました。

また、夜間の火災現場などで連携を図るということで、各分団に1台ずつトランシーバーを配備してあると。今年度は、新しい物といたらそういうものでございました。

それで、26年度当初に関してですが、今おっしゃいますように退職金を充実する法律と、それと消防団員の安全を図る新たな補助金等ができております。このため、消防団員の退職報償金については、先般、条例改正をお認めいただいたところでございます。

26年度の予算関係としまして、ただいま申しました新たな補助金を活用して、消防団員の安全装備品ということで、これは各分団、全11分団に救命胴衣、防火用の服、それからけがをしなないきれ、裂けない手袋、それから反射性のあるベスト、それから担架というものを全分団に装備させることにしております。

また、消防団員の資質を高めるということでもありまして、今年度新たに予算の中に消防団員の約半数を消防学校へ入校させる費用弁償を組ませていただいております。

それから、各部門全般にわたって出てまいりました都市再生という補助金を活用して、これは1分団、第10分団に限るんですが、第10分団の屯所と、それと西部地区の備蓄機能を図る倉庫を兼ねたコミュニティセンター、仮称ですけども、防災コミュニティセンターを実施するための設計費、これを今年度組ませていただいているということで

ございます。

委員長（藤本） 民法委員。

委員（民法） ひとつよろしく願いいたします。南海トラフ地震もよく言われています、いつ起こるか分からないということで。

それでまた、一つお願いがあるんですが、先日も山林火災訓練、中止になりましたけど、これも町長の権限で中止にするかどうかというのはわからんですが、条件が悪いからといって中止するのもどうかと思うんですが、よく雨が降ったり足場悪い中、それはけがが付きものというのわかるんですが、災害というものは、そういう危険な状態の中において消防団も命をかけてやるわけですから、今後、無理のない程度というか、少々のような実行していただきたいと思うんですが、町長いかがですか。

委員長（藤本） 岩田総務部次長。

総務部次長（岩田） おっしゃるとおり、そういう状態のときの訓練というのは、非常に有意義だとは思いますが。今回の林野火災訓練に関しましては雨の影響があって、地元の安芸消防署の署員、わざわざ現地に出向いていただいて、さすがにどうしても危険だということで、中止をせざるを得ないということで、町だけでなくいろんな消防機関とも検討した結果、やむなく中止にさせていただきました。

ただ、この間から言われますんですが、まだ訓練としては十分足りてないところもありまして、安全な状態でまず訓練もしていくというの必要だと思いますので、そういう日にちによって多少でも決行するぐらいの気持ちで取り組んではいきたいというふうに思っております。

委員長（藤本） ほかにございませんか。

（「質疑なし」の声あり）

委員長（藤本） ないようでしたら、以上6件の総括質疑を終了します。

これより本6件について、討論を行います。

討論はありませんか。

(「討論なし」の声あり)

委員長(藤本) これをもって本6件の討論を終結します。

これより議案第14号、平成26年度熊野町一般会計予算から議案第19号、平成26年度熊野町上水道事業会計予算までの6件について、一括して採決します。

本6件について、原案のとおり可決すべきものと決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長(藤本) 異議なしと認めます。

よって、本6件については、原案のとおり可決すべきものと決定されました。

これより本6件を原案のとおり決することとする委員長報告書を作成したいと思います。

暫時休憩します。

(休憩 午前13時44分)

(再開 午前13時45分)

~~~~~

委員長(藤本) 休憩前に引き続き、委員会を再開します。

報告書を作成しましたので、朗読します。

---

(案)

平成26年3月13日

熊野町議会議長 馬上勝登様

予算特別委員長 藤本哲智

#### 平成26年熊野町議会予算特別委員会審査報告書

本委員会は、平成26年第1回熊野町議会定例会において付託された次の件について、それぞれ慎重に審査した結果、いずれも原案のとおり可決されるべきと決定したので、会議規則第77条の規定により報告します。

議案第14号 平成26年度熊野町一般会計予算について

議案第15号 平成26年度熊野町国民健康保険事業特別会計予算について

議案第16号 平成26年度熊野町公共下水道事業特別会計予算について  
議案第17号 平成26年度熊野町後期高齢者医療特別会計予算について  
議案第18号 平成26年度熊野町介護保険特別会計予算について  
議案第19号 平成26年度熊野町上水道事業会計予算について

---

ただいまの委員長報告書について、採決します。

お諮りします。

ただいまの委員長報告書を本会議に報告することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長(藤本) 異議なしと認めます。

よって、ただいまの委員長報告書を本会議に報告することに決定しました。

皆さん、御協力ありがとうございました。

(散会 午前13時47分)

上記の記録の内容が正確であることを証するため署名する。

熊野町議会予算特別委員長

熊野町議会予算特別副委員長